

数学の授業について (3年生)

■ 学習の目標

- ①計算力を身につけ、物事を素早く正確に表現・処理する力をつける。
- ②文字を使うことのよさを知り、方程式を解けるようにする。またそれ利用することのよさを知り、実際に活用できるようにする。
- ③図形について様々な知識・性質を身につける。
- ④物事を式・グラフ・表・図形などを使って表し、課題解決に役立てるようにする。
- ⑤順序だてて考える力や、いろいろな見方・考え方を身につける。

■ 3学年の目標

- ①数の平方根について理解し、数の概念についての理解を一層深めよう。
- ②目的に応じて計算したり式を変形したりする力を伸ばそう。
- ③二次方程式について理解し、式を能率的に活用できるようにしよう。
- ④図形の相似や三平方の定理について、観察、操作や実験を通して理解し、それらを図形の性質の考えや計量に用いる力を伸ばそう。また、図形について見通しをもって論理的に考え、表現する力を伸ばそう。
- ⑤具体的な事象を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解し、関数関係を見つけ、表現し、考える力を伸ばそう。
- ⑥集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、集団の傾向を読み取る能力を培おう。

■ 評価の方法

★次の3つの項目で観点別に評価し、総合的な評価をします。

①知識・技能

- ・数や図形などの基本的な用語や公式、計算方法などを身につけており、活用することが出来るか。
- ・計算などの数量に関する問題を解くことが出来るか。

②思考力・判断力・表現力

- ・身近なことを数学的に考えることが出来るか。
- ・図形などを数学的に表現することが出来るか。
- ・自分の考えをしっかり持ち、自分の言葉でまとめることや振り返ることが出来るか。

③主体的に学習に取り組む態度

- ・数学に興味を持ち、意欲的に授業に取り組んでいるか。
- ・授業の約束をきちんと守ることが出来ているか。
- ・提出物（ノート、ワーク、レポートなど）の期限を守り、きちんと出来ているか。

定期テスト、小テスト、確認テストや授業中の解答の様子をもとに評価します。

提出物と授業中の態度、挙手、発言、作業などをもとに評価します。

■ 授業の約束

(1) 学習用具

- ①毎回用意するもの…教科書、ノート、ワーク、小テストファイル、のり
- ②必要ときに用意するもの…はさみ、三角定規、コンパス、分度器など

(2) 授業の流れ

- ①数学係は、カードを配る。用具を持ってくる。
- ②2分前着席をする。(きちんと学習用具を出しておく)。
- ③号令
- ④授業 (集中する)
- ⑤号令 (数学係は、次の授業の教科連絡をしておく。用具を片づける。)

(3) 授業の約束

- ①先生や発表者の話を聞くときは、話をする人の方に体を向け、話し手を見る。
- ②発表するとき (指名されたとき) は、みんなに聞こえる声で話す。
- ③問題を解いたり、作業するときは私語をせず、集中する。

(4) ノートの取り方 (ノートはB5判の大学ノート類を使用)

- ①黒板に書いたことはすべて書く。
- ②余白をつくる。(後で気づいたことなどを記入出来るように)
- ③色ペン、絵、図、表などを工夫して書く。
- ④問題は必ず書く。(教科書、ワークの問題は、ページと番号でもよい)
- ⑤使用したプリントは見開きで貼る。重ねない。折らない。
- ⑥表に、必ずクラス、番号、名前を書く。
- ⑦ノートやワークを回収したときは、数学係が指定された場所に運ぶ。